平成25年度　事務事業評価シート

※平成24年度に実施した事業を評価しています

事務事業名称	街区公園等整備								継続
コード	24	－	62	－	04	－	00	予算事業名	街区公園等整備
担当部署	都市計画部		公園整備課		公園建設担当			予算事業コード	会計 10 款 08 項 04 目 05

1. 事業の位置付けと関連計画、関連事業等

第三次川越市総合計画上の位置付け（太枠内）　位置付けなしの場合

基本目標(章)	3章	人と環境にやさしい、快適な基盤を備えた魅力あるまち	実施計画事業名	街区公園等整備
方向性(節)	3節	自然と調和した基盤づくり	個別計画等の名称	川越市緑の基本計画
施策	5	公園の整備と充実		
細施策	4	身近な活動拠点の整備	当事業に関連する事務事業	なし
事業実施の根拠となる法令・条例等	都市公園法			

法令による実施義務　義務ではない

2. 事業の目的と概要

事業の目的（誰・何を対象に、何のために実施するのか）	市民のだれもが公園を気軽に利用できるようにする。
事業の概要（活動内容、実施手段・方法など）	街区公園等の身近な公園を積極的に整備する。

3. 実施にかかるコストと実績

（単位:千円）

		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
予算額		275,310	88,626	208,118	63,341	29,500	
（25年度予算額大幅増／減の理由）							
事業費	A	242,773	43,907	178,247	56,574	29,500	33,950
人件費	B	10,272	9,538	7,704	5,870	5,870	5,136
総コスト（C＝A＋B）		253,045	53,445	185,951	62,444	35,370	39,086
正規職員（1年間の従事人数）		1.40人	1.30人	1.05人	0.80人	0.80人	0.70人
臨時職員（1年間の従事人数）		0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
国県支出金	D						
その他特定財源	E						20,200
市の財政負担（＝C－D－E）		253,045	53,445	185,951	62,444	35,370	18,886

※25年度、26年度の事業費、人件費は見込額
※臨時職員の給与も、人件費に含みます。

4. 成果指標・活動指標による分析

評価指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度目標値	将来目標値
活動	街区公園等の整備箇所数	箇所	3	3	0	3	2	年度 －
	指標の定義・説明		1年間の整備箇所数					
活動	街区公園等の整備面積	㎡	14,904	14,697	0	25,413	1,716	年度 －
	指標の定義・説明		1年間の整備面積（拡張含む）					
成果	歩いて行ける範囲の公園の整備率	%	33.1	33.1	35.6	36.1	36.1	年度 －
	指標の定義・説明		整備率＝公園箇所数÷（住区数×1住区の公園標準設置数）×面積補正×100%					
								年度
	指標の定義・説明							
指標に基づく評価			今後も市内各地域の公園の充足状況を鑑みながら、用地確保を基本として、適切な市街地へ身近な公園の整備を図る必要がある。					

5. 事業の実施を通じた分析

(1) 現在の課題と状況　課題はない

活動指標の実績、成果指標の目標達成状況は順調だが、今後さらに成果を向上させるため、他部署の計画と整合を図りながら公有地を活用したり、借地による整備を行うなど、用地の確保手段の多様化をさらに進める必要がある。

(2) 比較参考値（他市での類似事業の例など）

(3) 事業を廃止・縮小したときの影響

市民が潤いと安らぎを感じられる緑豊かなまちづくりの推進には本事業が重要な役割を担っており、必要である。

平成25年度事務事業評価　方向性提示シート

所管部署			都市計画部				公園整備課	公園建設担当
事務事業名称			24	62	04	00	街区公園等整備	
今後３年間の方向性	25年度	継　続	川越市都市公園条例では、一人当たりの公園面積を10㎡を標準としています。平成25年度は一人当たり約4．6㎡であり、公園等の整備を計画的に進める必要がある。公園の設置により健康増進、憩いの場の確保など文化的で潤いのある生活環境の推進を図る。					
	26年度	継　続						
	27年度	継　続						